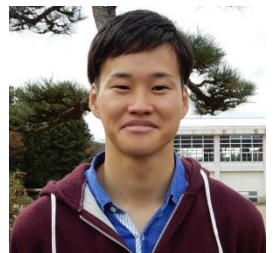


大内農業新聞

大内の農業をPR 大内のファンを増やすついで

第17号



大内地区
地域おこし協力隊

三浦 昌志

平成31年
4月15日発行

今月の小言

「まさし農園は
今年度も行います
情報お楽しみに♪」

新元号「令和」 初日の出を鹿狼山から見ようツアー

私企画のツアーを募集開始しました。4月30日に「ブナの原生林を周るツアー」、令和元年5月1日夜中に鹿狼山を登り、「改元の日」に初日の出を見ようツアーを行います。町外の方にも募集を行い、ゴールデンウィークを丸森で過ごしてもらえように計画をしました。【町内の方も記念すべき改元の日」に初日の出を見に登りませんか?】

活動内容 「農家交流を通じて都市部の若者を呼び込み、大内のファンを増やす」

三浦にご連絡頂ければ申し込みをしておきます。また、ご親戚の方々等もこの連休に丸森に来てもらいましょう。

新元号「令和」初日の出を見よう!

「ブナの原生林、鹿狼山トレッキングツアー」



1日目は新緑の季節を迎えたブナの原生林へ!
木の間から差し込む光は幻想的!
例年4月末~5月初旬に見頃を迎えるシロヤシオの群生に会えるかも!
2日目は気軽に登れる、鹿狼山へ!
初日の出を見るのに抜群のロケーションである鹿狼山に記念すべき新元号の御来光と一緒に拝みませんか?

日時: ①平成31年4月30日(火)
②令和元年5月1日(水)
集合場所: ①青葉温泉
(丸森町大内宇青葉73)
②鹿狼山鈴宇峠登り口
参加料金: ①+②+乗泊まり: 7,000円(男女別組別室)
(宿泊費: ガイド料・軽食代・保険料・税込)
①のみ: 3,000円(軽食代・保険料・税込)
②のみ: 1,500円(軽食代・保険料・税込)
募集定員: 両日ともに各25名(最少催行人員20名)
申込締切: 4月22日(月)まで
対象: 小学生以上(高校生以下は保護者同行)
その他: 登山の出来る服装、靴、杖、ヘッドライト、飲み物・行動食等は各自でご準備ください
※小雨決行(悪天中止)

4/30ブナの原生林ツアー内容	
10:00	①青葉温泉 受付開始
10:15	無料送迎バスで移動
10:30	ブナの原生林トレッキング開始
12:00	頂上で昼食
13:00	無料送迎バスで移動
13:45	直売所(いきいき交流センター大内)で買い物
14:30	宿泊場所(青葉温泉)で解散 宿泊者はそのままチェックイン

5/1鹿狼山トレッキングツアー内容	
03:00	②鹿狼山鈴宇峠登り口 受付開始
03:20	鹿狼山トレッキング開始
04:40	頂上到着
04:50	御来光、休憩
05:20	下山開始
06:40	鹿狼山鈴宇峠登り口 解散

イベントに関するお問い合わせ先
大内地区協議会
TEL: 0224-79-2004
〒981-2201 大内伊原町大内大字青葉73
受付時間: 平日09:00~17:00 休日は 不詳

お申込み先
丸森「こらいん」ツーリスト
〒981-2164 百城伊原町丸森町宇野東03-1(観光案内所内)
TEL: 0224-72-6392
受付時間: 平日09:00~17:00 休日は 不詳

一般社団法人あずだす 設立記念大感謝創業祭

4月6日7日、一般社団法人あずだす 設立記念大感謝創業祭が行われました。伝統芸能、日本舞踊、大内若もん会などがイベントに参加をしていました。強風の中でしたが大勢の方が集まり大盛況なイベントで終わりました。



→買い物客でいっぱい

→大内みらい屋射的

ホームページに載せた写真



グラウンド・ゴルフ大会
(3/14)



つる凧贈呈式
(3/15)



下町観音講
(3/17)



下町お茶のみ会
(3/26)



山屋敷集落



空久保集落



南平集落



北伊手集落



下町集落



佐野集落

念仏講(6集落)
3月21日24日、6集落で念仏講が行われました。念仏講とは極楽浄土を願い、念仏を回す風習です。山屋敷はマッチで数え13回、空久保は心の中で数え10回、南平はつまようじで数え12回、北伊手はそろばんを使い数回回す、下町は数え棒で数え33回、佐野はそろばんで数え3回など集落ごとに違いました。昔からの風習を残していけるように今後も情報発信をしながら伝えていきます。

感想・目標

3月は30年度の振り返りと31年度に向けた準備を行っています。何かを計画する事や構想を練る事は好きでワクワクします。ただ計画を計画で終わらせずしっかりと実践できるようにしていきます。自分なりにやれることを考えて小さなことでも、少しずつコツコツと実践をしていきます。先月号にも書きました。が、成功と失敗を繰り返しながら前進し、自分自身の成長に繋がっていきます。

好きなアーティストの歌詞にある「高ければ高い壁のほうに登った時気持ちいいもん」という言葉を思い出しながら業務を行っていきます。小さな目標を達成して終わりではなく、次の高い目標を超えられるように進んでいきたいと思えます。

編集後記

今年度からカラー印刷にして、写真も見やすくしていきます。用紙は緑のままなので、緑の広報誌で引き続き覚えてください。

今年度の活動目標

- 1.楽しみながら業務を行う
- 2.大学生を大内に年間70人連れて来る
- 3.色々な世代の困りごとを解決する